

学校コード F126310107608
注3

設置年度 令和 4年度
計画の区分： 学部^{注1}の学科^{注1}の設置

届出

注2
佛教大学 教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

学校法人佛教教育学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	佛教大学 学長室企画課
職名・氏名	ヤマカワウドウ 山川宏道
電話番号	075-491-2141（内線2132）
（夜間）	075-493-9012（直通）
e-mail	kikaku@bukkyo-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学部

＜幼児教育学科（通信教育課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人佛教教育学園

(2) 大 学 名
佛教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒603-8301
京都府京都市北区紫野北花ノ坊町96

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	タナカ ノリヒコ 田中 典彦 (令和元年12月)		
学 長	イトウ マサヒロ 伊藤 真宏 (令和3年4月)		
学 部 長	ヤマダチ コウジ 山口 孝治 (平成31年4月)	コバヤシ タカシ 小林 隆 (令和5年4月)	任期に伴う変更
学科長等	サトウ カズノリ 佐藤 和順 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 幼児教育学科 (通信教育課程) 学士(教育学)	教育学・保育 学関係	4 年	50 人	2年次 50 人 3年次 100 人 4年次 0 人	550 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「ー」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	50 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 50 (50) [-]	0.28倍	倍	0.22倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	- (-) [-]	17 (6) [-]	- (-) [-]					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	- (-) [-]	17 (6) [-]	- (-) [-]					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	- (-) [-]	17 (6) [-]	- (-) [-]					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	11 (-) [-]	- (-) [-]	17 (6) [-]	- (-) [-]					
入学定員超過率 B/A									0.22		0.34						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「ー」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「ー」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「ー」としてください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次									11 [ー] (ー)	ー [ー] (ー)	17 [ー] (ー)	ー [ー] (ー)	
2 年次											16 [ー] (ー)	ー [0]	
3 年次													
4 年次													
計									11 [ー] (ー)		33 [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の 5 月 1 日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「ー」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「ー」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	11 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	1 人	人	入学辞退(1人)
令和5年度	33 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{11} = \boxed{9.09} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 幼児教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担		
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目			自立学習入門	1通	2								兼1		
			小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0			
共通教育科目	テキスト	総合	哲学入門	1通	4								兼1		
			文学入門	1通	4								兼1		
			社会学入門	1通	4								兼1		
			社会福祉学入門	1通	4								兼1		
			政治学入門	1通	4								兼1		
			経済学入門	1通	4								兼1		
			教育学入門	1通	4								兼1		
			心理学入門	1通	4								兼1		
			日本国憲法	1通	2								兼1		
			情報処理入門	1通	2								兼1		
	スポーツ	スポーツ論入門	1通	2								兼1			
	外国語	英語コミュニケーション	1通	2									兼1		
		スクーリング・メディア	総合	法然の生涯と思想	1通	2								兼1	
				ブッダの教え	1通	2								兼1	
				文学と人生	1通	2								兼1	
				生涯学習	1通	2								兼1	
				現代社会と法律	1通	2								兼1	
				くらしとマスコミ	1通	2								兼1	
				東アジアの歴史と文化	1通	2								兼1	
				世界の教育	1通	2								兼1	
				ジェンダー	1通	2								兼1	
	情報と社会			1通	2								兼1		
	くらしと自然			1通	2								兼1		
	地理と風土			1通	2								兼1		
	エコロジー			1通	2								兼1		
	こころの健康			1通	2								兼1		
	京都の歴史と文化			1通	2								兼1		
	京のまつりと民俗信仰			1通	2								兼1		
	歴史都市京都の町並			1通	2								兼1		
	総合1			1通	1								兼1		
	総合2	1通	1								兼1				
	スポーツ	スポーツ科学	1通	2									兼1		
		生涯スポーツ	1通	2									兼1		
	外国語	英語Ⅰ	1通	2									兼2		
		英語Ⅱ	2通	2									兼2		
		基礎中国語	1通	2									兼1		
		中国語	2通	2									兼1		
		基礎朝鮮語	1通	2									兼1		
		朝鮮語	2通	2									兼1		
	小計(39科目)			—	4	88	0		0	0	0	0	兼29		
コース基礎教育科目			基礎ゼミナール	1通	2			1							
			小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0			
基礎科目			教育原論	1通	2			1							
			教育原論2	1通	2			1							
			生涯学習概論1	1通	2										兼1
			生涯学習概論2	1通	2										兼1
			臨床教育学1	2通	2		1								
			臨床教育学2	2通	2		1								
			教育心理学	2通	2			1							
			教育心理学2	2通	2			1							
			教育社会学	2通	2		1								
			教育社会学2	2通	2		1								
			教師・保育者論	2通	2		1								
			幼児教育・保育課程論	2通	2		1								
			幼児理解及び保育相談	2通	2			1							
			保育原理	2通	2		1								
			小計(14科目)	—	8	20	0	3	1	0	0	0	兼1		
専攻科目	必修科目	幼児教育学講読1	3通	1			1								
		幼児教育学講読2	3通	1					1						
		幼児教育学講読3	3通	1			1								
		幼児教育学講読4	3通	1						1					
		幼児教育学演習1	3通	2			1								
		幼児教育学演習2	3通	2			1								
	選択科目	幼児教育学特殊講義1	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義2	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義3	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義4	2通		1					1					
		幼児教育学特殊講義5	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義6	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義7	2通		1		1								
		幼児教育学特殊講義8	2通		1					1					
		保育内容の理論と方法「健康」	2通		2					1					
		保育内容の理論と方法「環境」	2通		2									兼1	
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2通		2					1					
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2通		2		1								
		卒業論文指導	4通		2		7	1	2						
		卒業論文	4通		6		7	1	2						
		幼児教育学演習3	4通		2					1					
		幼児教育学演習4	4通		2		1								
		小計(22科目)			—	8	28	0	7	1	2	0	0	0	兼1

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目		自立学習入門	1通	2								兼1
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	
テキスト	総合	哲学入門	1通		4							兼1
		文学入門	1通		4							兼1
		社会学入門	1通		4							兼1
		社会福祉学入門	1通		4							兼1
		政治学入門	1通		4							兼1
		経済学入門	1通		4							兼1
		教育学入門	1通		4							兼1
		心理学入門	1通		4							兼1
		日本国憲法	1通		2							兼1
		情報処理入門	1通		2							兼1
	スポーツ	スポーツ論入門	1通		2							兼1
外国語	英語コミュニケーション	1通		2							兼1	
共通教育科目	総合	法然の生涯と思想	1通	2								兼1
		ブッダの教え	1通	2								兼1
		文学と人生	1通		2							兼1
		生涯学習	1通		2							兼1
		現代社会と法律	1通		2							兼1
		くらしとマスコミ	1通		2							兼1
		東アジアの歴史と文化	1通		2							兼1
		世界の教育	1通		2							兼1
		ジェンダー	1通		2							兼1
		情報と社会	1通		2							兼1
		くらしと自然	1通		2							兼1
		地理と風土	1通		2							兼1
		エコロジー	1通		2							兼1
		こころの健康	1通		2							兼1
	京都の歴史と文化	1通		2							兼1	
	京のまつりと民俗信仰(未開講)	1通		2							兼1	
	歴史都市京都の町並	1通		2							兼1	
	総合1	1通		1							兼1	
	総合2	1通		1							兼1	
	スポーツ	スポーツ科学	1通		2							兼1
		生涯スポーツ	1通		2							兼1
	外国語	英語Ⅰ	1通		2							兼2
		英語Ⅱ	2通		2							兼2
		基礎中国語	1通		2							兼1
		中国語	2通		2							兼1
		基礎朝鮮語	1通		2							兼1
朝鮮語		2通		2							兼1	
小計(39科目)		—		4	88	0		0	0	0	0	兼37
コース基礎教育科目		基礎ゼミナール	1通	2			1					
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0	
基礎科目		教育原論	1通	2			1					
		教育原論2	1通	2			1					
		生涯学習概論1	1通	2								兼1
		生涯学習概論2	1通	2								兼1
		臨床教育学1	2通		2	1						
		臨床教育学2	2通		2	1						
		教育心理学	2通	2				1				
		教育心理学2	2通	2				1				
		教育社会学	2通	2			1					
		教育社会学2	2通	2			1					
		教師・保育者論	2通	2			1					
		幼児教育・保育課程論	2通	2			1					
		幼児理解及び保育相談	2通	2			1					
		保育原理	2通		2	1						
小計(14科目)		—	22	6	0	4	1	0	0	0	0	兼1
専攻科目	必修科目	幼児教育学講読1	3通	1			1					
		幼児教育学講読2	3通	1				1				
		幼児教育学講読3	3通	1			1					
		幼児教育学講読4	3通	1				1				
		幼児教育学演習1	3通	2			1					
		幼児教育学演習2	3通	2			1					
		保育内容の理論と方法「健康」	2通	2			1					
		保育内容の理論と方法「環境」	2通	2								兼1
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2通	2				1				
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2通	2			1					兼1
	選択科目	幼児教育学特殊講義1(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義2(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義3(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義4(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義5(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義6(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義7(未開講)	2通		1	1						
		幼児教育学特殊講義8(未開講)	2通		1	1						
	卒業論文指導	4通		2		8	2					
	卒業論文	4通		6		8	2					
	幼児教育学演習3	4通		2			1					
	幼児教育学演習4	4通		2		1						
小計(22科目)		—	16	20	0	8	2	0	0	0	0	兼2

関連科目1	教育史	2通	2							兼1	
	教育史2	2通	2							兼1	
	教育行政学	2通	2							兼1	
	教育行政学2	2通	2							兼1	
	教育哲学	2通	2							兼1	
	教育哲学2	2通	2							兼1	
	生涯教育論1	2通	2							兼1	
	生涯教育論2	2通	2							兼1	
	教育情報処理演習	3通	2							兼1	
	教育評価論	3通	2							兼1	
	教育法規1	3通	2							兼1	
	教育法規2	3通	2							兼1	
	比較教育学	3通	2	1							
	比較教育学2	3通	2	1							
	宗教教育論1	3通	2							兼1	
	宗教教育論2	3通	2							兼1	
	生涯学習コーディネーター論	3通	2							兼1	
	環境教育論	3通	2							兼1	
	国際理解教育論	3通	2							兼1	
	開発教育論	3通	2							兼1	
	情報技術教育論	3通	2							兼1	
	ICTの活用及び教育	3通	2							兼1	
	臨床心理学1	3通	2		1						
	臨床心理学2	3通	2		1						
	児童心理学1	3通	2		1						
	児童心理学2	3通	2		1						
	発達心理学	3通	2		1						
	発達心理学2	3通	2		1						
	学校臨床教育学1	3通	2	1							
	学校臨床教育学2	3通	2	1							
	学校臨床心理学1	3通	2		1						
	学校臨床心理学2	3通	2		1						
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2通	1							兼1	
	保育の内容及び方法	2通	2	1							
	人権(同和)教育	1通	2							兼1	
	専門総合1	3・4通	1							兼1	
	専門総合2	3・4通	1							兼1	
	専門総合3	3・4通	1							兼1	
	専門総合4	3・4通	1							兼1	
小計 (39科目)	—	0	73	0	3	1	0	0	0	兼12	
関連科目2	教育職員免許取得に関わる科目	保育内容の理論と方法「人間関係」	2・3・4通	2	1						
		保育内容の理論と方法「言葉」	2・3・4通	2	1						
		保育内容の理論と方法「身体表現」	2・3・4通	2			2				
		幼児と健康	2・3・4通	2			2				
		幼児と人間関係	2・3・4通	2	1						
		幼児と環境	2・3・4通	2							兼1
		幼児と言葉	2・3・4通	2	1						
		幼児と表現(造形)	2・3・4通	2	1						
		幼児と表現(音楽)	2・3・4通	2			1				
		幼児と表現(身体)	2・3・4通	2			1				
		教職実践演習(教諭)	4通	2	1						
		保育・教職実践演習(教諭)	4通	2	1						
		教育実習(幼)1	3・4通	4	1						
		教育実習(幼)2	3・4通	2	1						
	教育実習(幼)3	3・4通	2	1							
	教育実習指導(幼)	2・3・4通	1	1							
	資格科目	社会福祉論	2・3・4通	2	1						
		子ども家庭支援論	2・3・4通	2							兼1
		子ども家庭福祉	2・3・4通	2							兼1
		社会的養護1	2・3・4通	2	1						
		子ども家庭支援の心理学	2・3・4通	2		1					
		子どもの保健	2・3・4通	2							兼1
		子どもの食と栄養	2・3・4通	2							兼1
		乳児保育1	2・3・4通	2	1						
		乳児保育2	2・3・4通	1	1						
		子どもの健康と安全	2・3・4通	1							兼1
		障害児保育	2・3・4通	2							兼1
		社会的養護2	2・3・4通	1	1						
		子育て支援	2・3・4通	1	1						
		保育実習1A	3・4通	2	1						
		保育実習1B	3・4通	2	1						
		保育実習指導1	2・3・4通	2	1						
		保育実践演習	3・4通	2	1						
		保育実習2	3・4通	2	1						
		保育実習指導2	3・4通	1	1						
		保育実習3	3・4通	2	1						
		保育実習指導3	3・4通	1	1						
小計 (37科目)		—	0	69	0	4	1	2	0	0	兼6
合計 (153科目)		—	24	278	0	7	1	2	0	0	兼41
卒業要件及び履修方法											
【履修方法】 基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 共通教育科目のテキストより12単位以上を選択、スクーリング・メディアの総合およびスポーツより必修科目4単位と「スポーツ科学」「生涯スポーツ」のうちいずれか2単位を含んで24単位以上を選択、スクーリング・メディアの外国語より同一語種で4単位を選択して履修すること。 コース基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 基礎科目より、卒業論文を選択する者は必修科目8単位を含んで24単位以上を選択、卒業論文を選択しない者は必修科目8単位を含んで28単位以上を選択して履修すること。 専攻科目の必修科目8単位を履修、専攻科目の選択科目より8単位以上を選択して履修すること。なお、卒業論文を選択する者は「卒業論文指導」および「卒業論文」の2科目8単位を履修、卒業論文を選択しない者は「幼児教育学演習3」および「幼児教育学演習4」の2科目4単位を履修すること。なお、「卒業論文」を選択しない場合は、「基礎科目」の系列より4単位を加えて履修すること。 関連科目1で12単位以上の履修を含んで、関連科目1および関連科目2で合計32単位以上を履修すること。 【卒業要件】 修業年限の4年間で在学し、所要の124単位を履修すること。											

関連科目1	教育史	2通	2							兼1	
	教育史2	2通	2							兼1	
	教育行政学	2通	2							兼1	
	教育行政学2	2通	2							兼1	
	教育哲学	2通	2							兼1	
	教育哲学2	2通	2							兼1	
	生涯教育論1	2通	2							兼1	
	生涯教育論2	2通	2							兼1	
	教育情報処理演習	3通	2							兼1	
	教育評価論	3通	2							兼1	
	教育法規1	3通	2							兼1	
	教育法規2	3通	2							兼1	
	比較教育学	3通	2	1							
	比較教育学2	3通	2	1							
	宗教教育論1	3通	2							兼1	
	宗教教育論2	3通	2							兼1	
	生涯学習コーディネーター論	3通	2							兼1	
	環境教育論	3通	2							兼1	
	国際理解教育論	3通	2							兼1	
	開発教育論	3通	2							兼1	
	情報技術教育論	3通	2							兼1	
	ICTの活用及び教育	3通	2							兼1	
	臨床心理学1	3通	2		1						
	臨床心理学2	3通	2		1						
	児童心理学1	3通	2		1						
	児童心理学2	3通	2		1						
	発達心理学	3通	2		1						
	発達心理学2	3通	2		1						
	学校臨床教育学1	3通	2	1							
	学校臨床教育学2	3通	2	1							
	学校臨床心理学1	3通	2		1						
	学校臨床心理学2	3通	2		1						
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2通	1							兼1	
	保育の内容及び方法	2通	2		1						
	人権(同和)教育	1通	2							兼1	
	専門総合1	3・4通	1							兼1	
	専門総合2	3・4通	1							兼1	
	専門総合3	3・4通	1							兼1	
	専門総合4	3・4通	1							兼1	
小計 (39科目)	—	3	70	0	3	1	0	0	0	兼12	
関連科目2	教育職員免許状取得に関わる科目	保育内容の理論と方法「人間関係」	2・3・4通	2	1						
		保育内容の理論と方法「言葉」	2・3・4通	2	1						
		保育内容の理論と方法「身体表現」(未開講)	2・3・4通	2	1						兼1
		幼児と健康	2・3・4通	2	1						
		幼児と人間関係	2・3・4通	2	1						
		幼児と環境	2・3・4通	2							兼1
		幼児と言葉	2・3・4通	2	1						
		幼児と表現(造形)	2・3・4通	2	1						兼1
		幼児と表現(音楽)	2・3・4通	2		1					
		幼児と表現(身体)(未開講)	2・3・4通	2	1						兼1
		教職実践演習(教諭)	4通	2	1						
		保育・教職実践演習(教諭)	4通	2	1						
		教育実習(幼・小)1	3・4通	2	1						
	教育実習(幼・小)2	3・4通	2	1							
	教育実習指導(幼・小)	2・3・4通	1	1							
	資格科目	社会福祉論	2・3・4通	2	1						
		子ども家庭支援論	2・3・4通	2	1						
		子ども家庭福祉	2・3・4通	2	1						
		社会的養護1	2・3・4通	2	1						
		子ども家庭支援の心理学	2・3・4通	2		1					
		子どもの保健	2・3・4通	2							兼1
		子どもの食と栄養	2・3・4通	2							兼1
		乳児保育1	2・3・4通	2	1						
		乳児保育2	2・3・4通	1							兼1
		子どもの健康と安全	2・3・4通	1							兼1
		障害児保育	2・3・4通	2							兼1
		社会的養護2	2・3・4通	1							兼1
		子育て支援	2・3・4通	1							兼1
		保育実習1A	3・4通	2	1						
		保育実習1B	3・4通	2	1						
		保育実習指導1	2・3・4通	2	1						
		保育実践演習	3・4通	2	1						
		保育実習2	3・4通	2	1						
		保育実習指導2	3・4通	1	1						
		保育実習3	3・4通	2	1						
		保育実習指導3	3・4通	1	1						
小計 (36科目)		—	0	65	0	5	2	0	0	0	兼10
合計 (152科目)		—	49	249	0	8	2	0	0	0	兼53
卒業要件及び履修方法											
【履修方法】 基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 共通教育科目のテキストより12単位以上を選択、スクーリング・メディアの総合およびスポーツより必修科目4単位と「スポーツ科学」「生涯スポーツ」のうちいずれか2単位を含んで24単位以上を選択、スクーリング・メディアの外国語より同一語種で4単位を選択して履修すること。 コース基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 基礎科目より、卒業論文を選択する者は必修科目22単位を含んで24単位以上を選択、卒業論文を選択しない者は必修科目22単位を含んで28単位以上を選択して履修すること。 専攻科目の必修科目16単位を履修、専攻科目の選択科目より8単位以上を選択して履修すること。なお、卒業論文を選択する者は「卒業論文指導」および「卒業論文」の2科目8単位を履修、卒業論文を選択しない者は「幼児教育学演習3」および「幼児教育学演習4」の2科目4単位を履修すること。なお、「卒業論文」を選択しない場合は、「基礎科目」の系列より4単位を加えて履修すること。 関連科目1で必修科目3単位を含んで12単位以上を履修のうえ、関連科目1および関連科目2で合計32単位以上を履修すること。 【卒業要件】 修業年限の4年間で在学し、所要の124単位を履修すること。											

【令和4年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教育科目		自立学習入門	1通	2								兼1		
		小計(1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	兼1		
共通教育科目	テキスト	総合	哲学入門	1通	4							兼1		
		総合	文学入門	1通	4							兼1		
		総合	社会学入門	1通	4							兼1		
		総合	社会福祉学入門	1通	4							兼1		
		総合	政治学入門	1通	4							兼1		
		総合	経済学入門	1通	4							兼1		
		総合	教育学入門	1通	4							兼1		
		総合	心理学入門	1通	4							兼1		
		総合	日本国憲法	1通	2							兼1		
		総合	情報処理入門	1通	2							兼1		
	スポーツ	スポーツ論入門	1通	2								兼1		
	外国語	英語コミュニケーション	1通	2								兼1		
	スクリーニング・メディア	総合	法然の生涯と思想	1通	2								兼1	
		総合	ブッダの教え	1通	2								兼1	
		総合	文学と人生	1通	2								兼1	
		総合	生涯学習	1通	2								兼1	
		総合	現代社会と法律	1通	2								兼1	
		総合	くらしとマスコミ	1通	2								兼1	
		総合	東アジアの歴史と文化	1通	2								兼1	
		総合	世界の教育	1通	2								兼1	
		総合	ジェンダー	1通	2								兼1	
		総合	情報と社会	1通	2								兼1	
		総合	くらしと自然	1通	2								兼1	
		総合	地理と風土	1通	2								兼1	
		総合	エコロジー	1通	2								兼1	
		総合	こころの健康	1通	2								兼1	
		総合	京都の歴史と文化	1通	2								兼1	
		総合	京のまつりと民俗信仰	1通	2								兼1	
		総合	歴史都市京都の町並	1通	2								兼1	
		総合	総合1	1通	1								兼1	
		総合	総合2	1通	1								兼1	
		スポーツ	スポーツ科学	1通	2								兼1	
		スポーツ	生涯スポーツ	1通	2								兼1	
		外国語	英語Ⅰ	1通	2									兼2
			英語Ⅱ	2通	2									兼2
			基礎中国語	1通	2									兼1
			中国語	2通	2									兼1
			基礎朝鮮語	1通	2									兼1
			朝鮮語	2通	2									兼1
		小計(39科目)		—	4	88	0		0	0	0	0	兼29	
コース基礎教育科目		基礎ゼミナール	1通	2			1							
		小計(1科目)	—	2	0	0	1	0	0	0	0			
基礎科目		教育原論	1通	2			1							
		教育原論2	1通	2			1							
		生涯学習概論1	1通	2									兼1	
		生涯学習概論2	1通	2									兼1	
		臨床教育学1	2通	2			1							
		臨床教育学2	2通	2			1							
		教育心理学	2通	2				1						
		教育心理学2	2通	2				1						
		教育社会学	2通	2			1							
		教育社会学2	2通	2			1							
		教師・保育者論	2通	2			1							
		幼児教育・保育課程論	2通	2			1							
		幼児理解及び保育相談	2通	2				1						
		保育原理	2通	2			1							
小計(14科目)		—	8	20	0	3	1	0	0	0	0	兼1		
専攻科目	必修科目	幼児教育学講読1	3通	1			1							
		幼児教育学講読2	3通	1				1						
		幼児教育学講読3	3通	1			1							
		幼児教育学講読4	3通	1					1					
		幼児教育学演習1	3通	2			1							
		幼児教育学演習2	3通	2			1							
	選択科目	幼児教育学特殊講義1	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義2	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義3	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義4	2通	1				1						
		幼児教育学特殊講義5	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義6	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義7	2通	1		1								
		幼児教育学特殊講義8	2通	1				1						
		保育内容の理論と方法「健康」	2通	2				1						
		保育内容の理論と方法「環境」	2通	2								兼1		
		保育内容の理論と方法「音楽表現」	2通	2				1						
		保育内容の理論と方法「造形表現」	2通	2		1			2					
		卒業論文指導	4通	2		7	1	2						
		卒業論文	4通	6		7	1	2						
		幼児教育学演習3	4通	2				1						
		幼児教育学演習4	4通	2		1								
	小計(22科目)		—	8	28	0	7	1	2	0	0	0	兼1	

関連科目1	教育史	2通	2							兼1	
	教育史2	2通	2							兼1	
	教育行政学	2通	2							兼1	
	教育行政学2	2通	2							兼1	
	教育哲学	2通	2							兼1	
	教育哲学2	2通	2							兼1	
	生涯教育論1	2通	2							兼1	
	生涯教育論2	2通	2							兼1	
	教育情報処理演習	3通	2							兼1	
	教育評価論	3通	2							兼1	
	教育法規1	3通	2							兼1	
	教育法規2	3通	2							兼1	
	比較教育学	3通	2		1						
	比較教育学2	3通	2		1						
	宗教教育論1	3通	2							兼1	
	宗教教育論2	3通	2							兼1	
	生涯学習コーディネーター論	3通	2							兼1	
	環境教育論	3通	2							兼1	
	国際理解教育論	3通	2							兼1	
	開発教育論	3通	2							兼1	
	情報技術教育論	3通	2							兼1	
	ICTの活用及び教育	3通	2							兼1	
	臨床心理学1	3通	2			1					
	臨床心理学2	3通	2			1					
	児童心理学1	3通	2			1					
	児童心理学2	3通	2			1					
	発達心理学	3通	2			1					
	発達心理学2	3通	2			1					
	学校臨床教育学1	3通	2		1						
	学校臨床教育学2	3通	2		1						
	学校臨床心理学1	3通	2			1					
	学校臨床心理学2	3通	2			1					
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	2通	1							兼1	
	保育の内容及び方法	2通	2		1						
	人権(同和)教育	1通	2							兼1	
	専門総合1	3・4通	1							兼1	
	専門総合2	3・4通	1							兼1	
	専門総合3	3・4通	1							兼1	
	専門総合4	3・4通	1							兼1	
小計(39科目)	—	0	73	0	3	1	0	0	0	兼12	
関連科目2	教育職員免許取得に関わる科目	保育内容の理論と方法「人間関係」	2・3・4通	2		1					
		保育内容の理論と方法「言葉」	2・3・4通	2		1					
		保育内容の理論と方法「身体表現」	2・3・4通	2				2			
		幼児と健康	2・3・4通	2				2			
		幼児と人間関係	2・3・4通	2		1					
		幼児と環境	2・3・4通	2							兼1
		幼児と言葉	2・3・4通	2		1					
		幼児と表現(造形)	2・3・4通	2		1					
		幼児と表現(音楽)	2・3・4通	2				1			
		幼児と表現(身体)	2・3・4通	2				1			
		教職実践演習(教諭)	4通	2		1					
		保育・教職実践演習(教諭)	4通	2		1					
		教育実習(幼)1	3・4通	4		1					
		教育実習(幼)2	3・4通	2		1					
		教育実習(幼)3	3・4通	2		1					
		教育実習指導(幼)	2・3・4通	1		1					
	資格科目	社会福祉論	2・3・4通	2		1					
		子ども家庭支援論	2・3・4通	2							兼1
		子ども家庭福祉	2・3・4通	2							兼1
		社会的養護1	2・3・4通	2		1					
		子ども家庭支援の心理学	2・3・4通	2			1				
		子どもの保健	2・3・4通	2							兼1
		子どもの食と栄養	2・3・4通	2							兼1
		乳児保育1	2・3・4通	2		1					
		乳児保育2	2・3・4通	1		1					
		子どもの健康と安全	2・3・4通	1							兼1
		障害児保育	2・3・4通	2							兼1
		社会的養護2	2・3・4通	1		1					
		子育て支援	2・3・4通	1		1					
		保育実習1A	3・4通	2		1					
		保育実習1B	3・4通	2		1					
		保育実習指導1	2・3・4通	2		1					
		保育実践演習	3・4通	2		1					
		保育実習2	3・4通	2		1					
		保育実習指導2	3・4通	1		1					
		保育実習3	3・4通	2		1					
		保育実習指導3	3・4通	1		1					
小計(37科目)	—	0	69	0	4	1	2	0	0	兼6	
合計(153科目)		—	24	278	0	7	1	2	0	0	兼41
卒業要件及び履修方法											
【履修方法】 基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 共通教育科目のテキストより12単位以上を選択、スクーリング・メディアの総合およびスポーツより必修科目4単位と「スポーツ科学」「生涯スポーツ」のうちいずれか2単位を含んで24単位以上を選択、スクーリング・メディアの外国語より同一語種で4単位を選択して履修すること。 コース基礎教育科目より必修科目2単位を履修すること。 基礎科目より、卒業論文を選択する者は必修科目8単位を含んで24単位以上を選択、卒業論文を選択しない者は必修科目8単位を含んで28単位以上を選択して履修すること。 専攻科目の必修科目8単位を履修、専攻科目の選択科目より8単位以上を選択して履修すること。なお、卒業論文を選択する者は「卒業論文指導」および「卒業論文」の2科目8単位を履修、卒業論文を選択しない者は「幼児教育学演習3」および「幼児教育学演習4」の2科目4単位を履修すること。なお、「卒業論文」を選択しない場合は、「基礎科目」の系列より4単位を加えて履修すること。 関連科目1で12単位以上の履修を含んで、関連科目1および関連科目2で合計32単位以上を履修すること。 【卒業要件】 修業年限の4年間で在学し、所要の124単位を履修すること。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】 ・教員免許状課程の課程認定申請における指摘事項への対応により、一部の選択科目を必修科目に変更。 ・教員免許状課程の課程認定申請における指摘事項への対応により、「幼児理解及び保育相談」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。 ・教員の昇任により、「幼児教育学講読2」「幼児教育学講読4」「保育内容の理論と方法「音楽表現」「幼児教育学演習3」「幼児と表現(音楽)」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。 ・教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法「健康」「幼児教育学特殊講義4」「幼児教育学特殊講義8」「幼児と健康」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。 ・教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法「身体表現」「幼児と表現(身体)」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。 ・教員の就任辞退により、「保育内容の理論と方法「造形表現」「幼児と表現(造形)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。 ・教員の就任辞退および昇任により、「卒業論文指導」「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授7、准教授1、講師2」から「教授8、准教授2」に変更。 ・教職課程認定基準の改正に伴い、複数学科間で科目の共通開設を行って教育実習に係る科目を整理したことにより、授業科目の名称を「教育実習(幼)1」から「教育実習(幼・小)1」に、「教育実習(幼)2」から「教育実習(幼・小)2」に、「教育実習指導(幼)」から「教育実習指導(幼・小)」にそれぞれ変更。 ・教職課程認定基準の改正に伴う複数学科間で科目の共通開設を行って教育実習に係る科目を整理したことにより、「教育実習(幼・小)1」の単位数を「4」から「2」に変更。
【令和5年度】 ・教員の担当授業科目変更により、「幼児理解及び保育相談」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。 ・教員の担当授業科目変更により、「子ども家庭支援論」「子ども家庭福祉」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。 ・教員の担当授業科目変更により、「乳児保育2」「社会的養護2」「子育て支援」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
14 科目	139 科目	0 科目	153 科目	27 科目 [13]	125 科目 [△14]	0 科目 [ー]	152 科目 [△1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	京のまつりと民俗信仰	2	1通	一般	選択	理由：メディア履修の映像コンテンツ再作成のため、代替措置：無し
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	教育実習（幼）3	2	3・4通	専門	選択	理由：教育実習科目の整理のため、代替措置：無し
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について、同系列の他科目を履修することにより卒業に向けた学修を進めることは可能であるため、学生の履修への影響はない。

廃止科目について、教育職員免許状の取得を目指す学生に対しては、今般の廃止科目以外の教育実習科目2科目を履修することによって取得要件を充足するカリキュラムとなっているため、履修への影響はない。

以上2点の学生への周知については、刊行物および履修ガイダンスにおいて行うこととする。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{2}{153} = \boxed{1.3} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	62,436.77 m ²	0 m ²	0 m ²	62,436.77 m ²			
	運動場用地	195,870.47 m ²	0 m ²	0 m ²	195,870.47 m ²			
	小 計	258,307.24 m ²	0 m ²	0 m ²	258,307.24 m ²			
	そ の 他	4,904.70 m ²	0 m ²	0 m ²	4,904.70 m ²			
	合 計	263,211.94 m ²	0 m ²	0 m ²	263,211.94 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		88,735.32 m ² (88,735.32 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	88,735.32 m ² (88,735.32 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27 室	35 室	94 室	9 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		教育学部 幼児教育学科			10 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	教育学部 幼児教育学科	9,299 [1,386] 9,078 [1,265] 7,346 [947] (8,867 [1,368]) (8,502 [1,241]) (6,770 [923])	116 [0] (116 [0])	0 [0] (0 [0])	5,500 (5,500)	90 (90)	0 (0)	図書充実のため (5) 図書充実のため (4)
	計	9,299 [1,386] 9,078 [1,265] 7,346 [947] (8,867 [1,368]) (8,502 [1,241]) (6,770 [923])	116 [0] (116 [0])	0 [0] (0 [0])	5,500 (5,500)	90 (90)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		10,910.54 m ²		1,036 1,037		1,050,440		用途変更に伴う座席数 減 (4)
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		2,632.13 m ²		雨天練習場2カ所・テニスコート15面・野球場1面 陸上競技場 (サッカー場) 1面・ラグビー場1面				
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	100,000千円	100,000千円	100,000千円
		共 同 研 究 費 等	9,500千円	9,500千円	設備購入費	60,000千円	60,000千円	60,000千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		180千円	150千円	150千円	150千円	一 千円	一 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、寄付金収入、手数料収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号 (その1の1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において 赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	佛 教 大 学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	11	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	8	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
通学課程（全日制）	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
仏教学部																	
仏教学科	4	60	3年次 ₅	250	学士(文学)	0.88		0.94		－	平成22	京都市北区紫野北花ノ坊町96番地	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）				
文学部																	
日本文学科	4	120	－	480	学士(文学)	1.08		1.12		－	平成22	同上					
中国学科	4	50	－	200	学士(文学)	0.93		0.97		－	昭和61	同上					
英米学科	4	70	3年次 ₅	290	学士(文学)	0.96		1.00		－	昭和50	同上	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）				
歴史学部																	
歴史学科	4	110	3年次 ₅	450	学士(文学)	1.07		1.10		－	平成22	同上	令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）				
歴史文化学科	4	70	－	280	学士(文学)	1.04		1.11		－	平成22	同上					
教育学部																	
教育学科	4	130	3年次 ₁₀	540	学士(教育学)	1.05		1.04		－	平成元	同上	令和6年度より3年次編入学定員減（△10人）				
幼児教育学科	4	80	－	160	学士(教育学)	1.14		1.14		令和4	令和4	同上					
臨床心理学科	4	80	3年次 ₅	290	学士(教育学)	1.09		1.10		令和4	平成12	同上	令和4年度入学定員増（20人） 令和6年度より3年次編入学定員減（△5人）				
社会学部																	
現代社会学科	4	200	－	800	学士(社会学)	1.04		1.06		－	平成16	同上					
公共政策学科	4	120	－	480	学士(社会学)	1.04		1.07		－	平成16	同上					
社会福祉学部																	
社会福祉学科	4	220	3年次 ₁₅	1,010	学士(社会福祉学)	1.01		1.00		令和4	平成16	同上	令和4年度入学定員減（△50人） 令和6年度より3年次編入学定員減（△15人）				
保健医療技術学部																	
理学療法学科	4	40	－	160	学士(保健学)	1.04		1.05		－	平成18	京都市中京区西ノ京東栞尾町7番地					
作業療法学科	4	40	－	160	学士(保健学)	1.06		1.05		－	平成18	同上					
看護学科	4	65	－	260	学士(保健学)	1.03		1.02		－	平成24	同上					
通学課程全体	－	1,455	45	5,810	－	－	－	－	－	－							
通信教育課程																	
仏教学部																	
仏教学科	4	100	－	800	学士(文学)	0.14		0.34		令和4	平成22	京都市北区紫野北花ノ坊町96番地	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				
文学部																	
日本文学科	4	100	－	800	学士(文学)	0.19		0.53		令和4	平成22	同上	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				
中国学科	4	50	－	400	学士(文学)	0.12		0.21		令和4	平成3	同上	令和4年度入学定員減（△100人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				
英米学科	4	100	－	800	学士(文学)	0.21		0.79		令和4	昭和56	同上	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				
歴史学部																	
歴史学科	4	100	－	500	学士(文学)	0.29		1.11		令和4	平成22	同上	令和4年度入学定員減（△50人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				
歴史文化学科	4	100	－	800	学士(文学)	0.15		0.36		令和4	平成22	同上	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学				

教育学部													
教育学科	4	400	－	2,800	学士 (教育学)	0.11		0.73		令和4	平成8	同上	令和4年度入学定員減（△600人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
<u>幼児教育学科</u>	4	50	2年次 50	150	学士 (教育学)	0.28		0.22		令和4	令和4	同上	2年次編入学定員は令和5年度より、3年次編 入学定員は令和6年度より入学
社会学部													
現代社会学科	4	300	－	1,600	学士 (社会学)	0.05		0.13		令和4	平成16	同上	令和4年度入学定員減（△200人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
公共政策学科	4	100	－	1,200	学士 (社会学)	0.03		0.03		令和4	平成16	同上	令和4年度入学定員減（△400人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
社会福祉学部													
社会福祉学科	4	200	－	2,800	学士 (社会福祉学)	0.14		0.20		令和4	平成16	同上	令和4年度入学定員減（△1,000人） 3年次編入学定員は令和6年度より入学
通信教育課程全体	－	1,600	－	12,650	－	－	－	－	－	－	－	－	

- （注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 （様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）>

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和４年度】			【令和５年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 （年 齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐藤 和順 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）	専	教授	佐藤 和順 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）	専	教授	佐藤 和順 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		基礎ゼミナール 教師・保育者論 保育原理 幼児教育学演習1 幼児教育学特殊講義1 幼児教育学特殊講義5 卒業論文指導 卒業論文			基礎ゼミナール 教師・保育者論 保育原理 幼児教育学演習1 幼児教育学特殊講義1 幼児教育学特殊講義5 卒業論文指導 卒業論文			基礎ゼミナール 教師・保育者論 保育原理 幼児教育学演習1 幼児教育学特殊講義1 幼児教育学特殊講義5 卒業論文指導 卒業論文
			専	教授	青木 好子 (57) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	専	教授	青木 好子 (58) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
					幼児教育学特殊講義4 幼児教育学特殊講義8 保育内容の理論と方法「健康」 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と健康 幼児と表現（身体） 卒業論文指導 卒業論文			幼児教育学特殊講義4 幼児教育学特殊講義8 保育内容の理論と方法「健康」 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と健康 幼児と表現（身体） 卒業論文指導 卒業論文
専	教授	大塚 良一 (66) ＜令和4年4月＞ 修士（社会福祉学）	専	教授	大塚 良一 (66) ＜令和4年4月＞ 修士（社会福祉学）	専	教授	大塚 良一 (67) ＜令和4年4月＞ 修士（社会福祉学）
		社会福祉論 社会的養護1 社会的養護2 保育実習1B 保育実習3 保育実習指導3 卒業論文指導 卒業論文			社会福祉論 社会的養護1 社会的養護2 保育実習1B 保育実習3 保育実習指導3 卒業論文指導 卒業論文			社会福祉論 社会的養護1 保育実習1B 保育実習3 保育実習指導3 卒業論文指導 卒業論文 子ども家庭支援論 子ども家庭福祉
専	教授	柏 まり (48) ＜令和4年4月＞ 博士（保健福祉学）	専	教授	柏 まり (48) ＜令和4年4月＞ 博士（保健福祉学）	専	教授	柏 まり (49) ＜令和4年4月＞ 博士（保健福祉学）
		保育の内容及び方法 乳児保育1 乳児保育2 子育て支援 保育実習1A 保育実習指導1 保育実習2 保育実習指導2 卒業論文指導 卒業論文			保育の内容及び方法 乳児保育1 乳児保育2 子育て支援 保育実習1A 保育実習指導1 保育実習2 保育実習指導2 卒業論文指導 卒業論文 幼児理解及び保育相談			保育の内容及び方法 乳児保育1A 保育実習指導1 保育実習2 保育実習指導2 卒業論文指導 卒業論文 幼児理解及び保育相談
専	教授	小林 みどり (56) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）	専	教授	小林 みどり (56) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）	専	教授	小林 みどり (57) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「人間関係」 保育内容の理論と方法「言葉」 幼児と人間関係 幼児と言葉 教職実践演習（教諭） 保育・教職実践演習（教諭） 保育実践演習 教育実習（幼）1 教育実習（幼）2 教育実習（幼）3 教育実習指導（幼） 卒業論文指導 卒業論文			保育内容の理論と方法「人間関係」 保育内容の理論と方法「言葉」 幼児と人間関係 幼児と言葉 教職実践演習（教諭） 保育・教職実践演習（教諭） 保育実践演習 教育実習（幼・小）1 教育実習（幼・小）2 教育実習指導（幼・小） 卒業論文指導 卒業論文			保育内容の理論と方法「人間関係」 保育内容の理論と方法「言葉」 幼児と人間関係 幼児と言葉 教職実践演習（教諭） 保育・教職実践演習（教諭） 保育実践演習 教育実習（幼・小）1 教育実習（幼・小）2 教育実習指導（幼・小） 卒業論文指導 卒業論文

専	准教授	山崎 玲奈 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 臨床教育学1 臨床教育学2 児童心理学1 児童心理学2 発達心理学 発達心理学2 学校臨床心理学1 学校臨床心理学2 子ども家庭支援の心理学 卒業論文指導 卒業論文
兼任	講師	山崎 玲奈 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 子ども家庭支援の心理学
専	講師	臼井 奈緒 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
		幼児教育学講読2 幼児教育学講読4 保育内容の理論と方法「音楽表現」 幼児教育学演習3 幼児と表現（音楽） 卒業論文指導 卒業論文
専	講師	藤澤 薫里 (29) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		幼児教育学特殊講義4 幼児教育学特殊講義8 保育内容の理論と方法「健康」 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と健康 幼児と表現（身体） 卒業論文指導 卒業論文
兼任	教授	安藤 潤 (54) ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		経済学入門
兼任	教授	李 昇燁 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		東アジアの歴史と文化

		臼井 奈緒 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
専	准教授	幼児教育学講読2 幼児教育学講読4 保育内容の理論と方法「音楽表現」 幼児教育学演習3 幼児と表現（音楽） 卒業論文指導 卒業論文
専	准教授	山崎 玲奈 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 臨床教育学1 臨床教育学2 児童心理学1 児童心理学2 発達心理学 発達心理学2 学校臨床心理学1 学校臨床心理学2 子ども家庭支援の心理学 卒業論文指導 卒業論文
兼任	講師	山崎 玲奈 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 幼児理解及び保育相談 子ども家庭支援の心理学
兼任	教授	上田 道明 (58) ＜令和4年4月＞ 法学修士
		政治学入門

		臼井 奈緒 (47) ＜令和4年4月＞ 修士（学校教育学）
専	准教授	幼児教育学講読2 幼児教育学講読4 保育内容の理論と方法「音楽表現」 幼児教育学演習3 幼児と表現（音楽） 卒業論文指導 卒業論文
専	准教授	山崎 玲奈 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 臨床教育学1 臨床教育学2 児童心理学1 児童心理学2 発達心理学 発達心理学2 学校臨床心理学1 学校臨床心理学2 子ども家庭支援の心理学 卒業論文指導 卒業論文
兼任	講師	山崎 玲奈 (49) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		教育心理学 教育心理学2 子ども家庭支援の心理学
兼任	教授	上田 道明 (59) ＜令和4年4月＞ 法学修士
		政治学入門

兼任	教授	大林 照明 (66) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）	兼任	教授	大林 照明 (66) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）	兼任	教授	大林 照明 (66) ＜令和5年4月＞ 学士（商学）
		教育行政学 教育行政学2			教育行政学 教育行政学2			教育行政学 教育行政学2
兼任	教授	後藤 直 (64) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）	兼任	教授	後藤 直 (64) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）	兼任	教授	後藤 直 (65) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）
		人権（同和）教育			人権（同和）教育			人権（同和）教育
兼任	教授	近藤 敏夫 (64) ＜令和4年4月＞ 文学修士						
		社会学入門						
			兼任	教授	末崎 栄司 (67) ＜令和4年4月＞ 社会学修士	兼任	教授	末崎 栄司 (68) ＜令和4年4月＞ 社会学修士
					社会福祉学入門 総合1 総合2			社会福祉学入門
兼任	教授	相馬 伸一 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	相馬 伸一 (59) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）	兼任	教授	相馬 伸一 (60) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		世界の教育 教育史 教育史2 教育哲学 教育哲学2 国際理解教育論			教育史 教育史2 教育哲学 教育哲学2 国際理解教育論			教育史 教育史2 教育哲学 教育哲学2 国際理解教育論
兼任	教授	曾和 義宏 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）						
		ブッダの教え						
						兼任	教授	崔 銀姫 (54) ＜令和5年4月＞ 修士（社会情報学）
								くらしとマスコミ
						兼任	教授	朴 光駿 (64) ＜令和5年4月＞ 社会学博士
								総合1 総合2
兼任	教授	原 清治 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	原 清治 (61) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	原 清治 (62) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		教育学入門 開発教育論			教育学入門 開発教育論			教育学入門 開発教育論
						兼任	教授	日高 佳紀 (55) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
								文学入門
						兼任	教授	平田 豊誠 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
								保育内容の理論と方法「環境」 環境教育論 幼児と環境

兼任	教授	八木 透 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		京都の歴史と文化 京のまつりと民俗信仰 歴史都市京都の町並
兼任	教授	山口 孝治 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		スポーツ論入門 スポーツ科学 生涯スポーツ
兼任	准教授	赤沢 真世 (45) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育評価論
兼任	准教授	新井 康友 (48) ＜令和4年4月＞ 修士（社会学）
		社会福祉学入門
兼任	准教授	市川 定敬 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		法然の生涯と思想
兼任	准教授	井上 洋平 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		障害児保育

兼任	教授	藤井 透 (63) ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		経済学入門
兼任	教授	三谷 憲正 (69) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		文学入門
兼任	教授	持留 浩二 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーション
兼任	教授	八木 透 (66) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		京のまつりと民俗信仰
兼任	教授	山口 孝治 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		スポーツ論入門 スポーツ科学 生涯スポーツ 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と表現（身体）
兼任	教授	渡邊 秀一 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		歴史都市京都の町並
兼任	准教授	赤沢 真世 (45) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育評価論
兼任	准教授	井上 洋平 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		障害児保育

兼任	教授	藤井 透 (64) ＜令和4年4月＞ 経済学修士
		経済学入門
兼任	教授	松村 京子 (69) ＜令和5年4月＞ 医学博士
		特別な教育的ニーズの理解 とその支援
兼任	教授	持留 浩二 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーション
兼任	教授	八木 透 (67) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		京のまつりと民俗信仰
兼任	教授	山口 孝治 (55) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		スポーツ論入門 スポーツ科学 生涯スポーツ 保育内容の理論と方法「身体表現」 幼児と表現（身体）
兼任	教授	渡邊 秀一 (69) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		歴史都市京都の町並
兼任	准教授	赤沢 真世 (45) ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		教育評価論
兼任	准教授	井上 洋平 (44) ＜令和5年4月＞ 博士（社会学）
		障害児保育

兼任	准教授	鬼頭 泰子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（言語文化学）
		子どもの保健
兼任	准教授	長瀬 正子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		総合1 総合2 専門総合1 専門総合2 専門総合3 専門総合4 子ども家庭支援論 子ども家庭福祉
兼任	准教授	橋本 憲尚 (66) ＜令和6年4月＞ 学術修士
		宗教教育論1 宗教教育論2
兼任	准教授	長谷川 由香 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		子どもの健康と安全
兼任	准教授	浜畑 圭吾 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		文学入門 文学と人生
兼任	准教授	平田 豊誠 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「環境」 環境教育論 幼児と環境
兼任	准教授	持留 浩二 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語コミュニケーション
兼任	准教授	渡邊 照美 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		特別な教育的ニーズの理解とその支援
兼任	講師	ウィリアム フェル (61) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	曾 睿 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		中国語

兼任	准教授	鬼頭 泰子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（言語文化学）
		子どもの保健
兼任	准教授	齋藤 蒙光 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		法然の生涯と思想
兼任	准教授	長瀬 正子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		専門総合1 専門総合2 専門総合3 専門総合4 子ども家庭支援論 子ども家庭福祉
兼任	准教授	橋本 憲尚 (66) ＜令和6年4月＞ 学術修士
		宗教教育論1 宗教教育論2
兼任	准教授	長谷川 由香 (61) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		子どもの健康と安全
兼任	准教授	平田 豊誠 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（学校教育学）
		保育内容の理論と方法「環境」 環境教育論 幼児と環境
兼任	准教授	三重野 雄太郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		現代社会と法律
兼任	准教授	渡邊 照美 (45) ＜令和5年4月＞ 博士（教育学）
		特別な教育的ニーズの理解とその支援
兼任	講師	ウィリアム フェル (61) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		英語Ⅱ
兼任	講師	曾 睿 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		中国語

兼任	准教授	鬼頭 泰子 (47) ＜令和5年4月＞ 博士（言語文化学）
		子どもの保健
兼任	准教授	長瀬 正子 (45) ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		専門総合1 専門総合2 専門総合3 専門総合4 社会的養護2
兼任	准教授	橋本 憲尚 (66) ＜令和6年4月＞ 学術修士
		宗教教育論1 宗教教育論2
兼任	講師	曾 睿 (35) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		中国語

兼任	講師	三重野 雄太郎 (37) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		現代社会と法律
兼任	講師	宮村 教平 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法 教育法規1 教育法規2
兼任	講師	アイシュワリヤ スガントイ (48) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	上野 潤 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）（韓国）
		基礎朝鮮語
兼任	講師	内山 淳子 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門

兼任	講師	宮村 教平 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法 教育法規1 教育法規2
兼任	講師	アイシュワリヤ スガントイ (48) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語Ⅱ
兼任	講師	芦田 風馬 (35) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
専	講師	芦田 風馬 (33) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
兼任	講師	有田 亘 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		情報と社会
兼任	講師	植田 愛美 (32) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理学入門
兼任	講師	上野 潤 (59) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）（韓国）
		基礎朝鮮語
兼任	講師	内山 淳子 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門

兼任	講師	田中 裕成 (33) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		ブッダの教え
兼任	講師	堤 拓也 (30) ＜令和5年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門
兼任	講師	増本 敏子 (65) ＜令和5年4月＞ 短期大学卒
		乳児保育2
兼任	講師	宮村 教平 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（法学）
		日本国憲法 教育法規1 教育法規2
兼任	講師	芦田 風馬 (35) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
専	講師	芦田 風馬 (34) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		保育内容の理論と方法「造形表現」 幼児と表現（造形）
兼任	講師	有田 亘 (55) ＜令和4年4月＞ 修士（人間科学）
		情報と社会
兼任	講師	伊藤 茂樹 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（文学）
		法然の生涯と思想
兼任	講師	植田 愛美 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		心理学入門
兼任	講師	上野 潤 (60) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）（韓国）
		基礎朝鮮語

兼任	准教授	内山 淳子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門
兼任	講師	小谷 清子 (53) ＜令和5年4月＞ 学士（生活科学）
		子どもの食と栄養
兼任	講師	金納 史佳 (33) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		心理学入門 こころの健康
兼任	講師	栗本 裕見 (56) ＜令和4年4月＞ 修士（法学）
		政治学入門
兼任	講師	芝田 篤紀 (30) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		くらしと自然 地理と風土
兼任	講師	孫 潔 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語

兼任	准教授	内山 淳子 (58) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		自立学習入門
兼任	講師	小谷 清子 (53) ＜令和5年4月＞ 学士（生活科学）
		子どもの食と栄養
兼任	講師	櫻津 祥貴 (46) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		こころの健康
兼任	講師	木村 大輔 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		地理と風土
兼任	講師	小林 孝夫 (67) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		京都の歴史と文化
兼任	講師	白石 哲郎 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（社会学）
		社会学入門
兼任	講師	孫 潔 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語

兼任	講師	小谷 清子 (53) ＜令和5年4月＞ 学士（生活科学）
		子どもの食と栄養
兼任	講師	櫻津 祥貴 (47) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		こころの健康
兼任	講師	古関 大樹 (42) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
		地理と風土
兼任	講師	小林 孝夫 (68) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		京都の歴史と文化
兼任	講師	鎮 朋子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士（臨床教育学）
		子育て支援
兼任	講師	白石 哲郎 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（社会学）
		社会学入門
兼任	講師	孫 潔 (50) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語

兼任	講師	孫 潔 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語
兼任	講師	土屋 依子 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（都市科学）
		エコロジー
兼任	講師	長尾 文孝 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（環境科学）
		情報処理入門
兼任	講師	西本 明央 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門

兼任	講師	孫 潔 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語
兼任	講師	高橋 信幸 (56) ＜令和4年4月＞ 博士（学校教育学）
		くらしと自然
兼任	講師	田中 達也 (42) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		世界の教育
兼任	講師	田辺 翔平 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		英語Ⅰ
兼任	講師	全 炳昊 (50) ＜令和4年4月＞ 博士（社会学）
		くらしとマスコミ
兼任	講師	長尾 文孝 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（環境科学）
		情報処理入門
兼任	講師	中御門 敬教 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		ブッダの教え
兼任	講師	西本 明央 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門
兼任	講師	林田 匡 (51) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		生涯学習

兼任	講師	孫 潔 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎中国語
兼任	講師	田中 達也 (43) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		世界の教育
兼任	講師	田辺 翔平 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任	講師	崔 杉昌 (61) ＜令和5年4月＞ 博士（文学）
		朝鮮語
兼任	講師	長尾 文孝 (54) ＜令和4年4月＞ 修士（環境科学）
		情報処理入門
兼任	講師	中野 千恵美 (63) ＜令和5年4月＞ 厚生女学院卒
		子どもの健康と安全
兼任	講師	西本 明央 (53) ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		哲学入門
兼任	講師	林田 匡 (52) ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		生涯学習

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和４年度】

- ・青木好子教員：令和4年4月専任教授就任
- ・柏まり教員：担当授業科目変更
- ・小林みどり教員：担当授業科目変更
- ・津田由加子教員：就任辞退
- ・高橋敏之教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・臼井奈緒教員：令和4年4月准教授昇任
- ・藤澤薫里教員：就任辞退
- ・安藤潤教員：就任辞退
- ・李昇燁教員：就任辞退
- ・上田道明教員：令和4年4月兼担教授就任
- ・近藤敏夫教員：就任辞退
- ・末崎栄司教員：令和4年4月兼担教授就任
- ・相馬伸一教員：担当授業科目変更
- ・曾和義宏教員：就任辞退
- ・藤井透教員：令和4年4月兼担教授就任
- ・三谷憲正教員：令和4年4月兼担教授就任
- ・持留浩二教員：令和4年4月教授昇任
- ・八木透教員：担当授業科目変更
- ・山口孝治教員：担当授業科目変更
- ・渡邊秀一教員：令和4年4月兼担教授就任
- ・新井康友教員：就任辞退
- ・市川定敬教員：就任辞退
- ・齋藤蒙光教員：令和4年4月兼担准教授就任
- ・長瀬正子教員：担当授業科目変更
- ・浜畑圭吾教員：就任辞退
- ・三重野雄太郎教員：令和4年4月准教授昇任
- ・ウリウム フェル教員：担当授業科目変更
- ・フィッシュマン スカントイ教員：担当授業科目変更
- ・芦田風馬教員：令和4年4月専任講師就任、令和6年4月専任講師就任
- ・有田亘教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・植田愛美教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・樫津祥貴教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・金納史佳教員：就任辞退
- ・木村大輔教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・栗本裕見教員：就任辞退
- ・小林孝夫教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・芝田篤紀教員：就任辞退
- ・白石哲郎教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・高橋信幸教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・田中達也教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・田辺翔平教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・全炳昊教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・土屋依子教員：就任辞退
- ・中御門敬教教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・林田匡教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・早瀬和栄教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・朴銀姫教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・山本桂子教員：担当授業科目変更
- ・湯川宗紀教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・與座良一教員：令和4年4月兼任講師就任
- ・吉見憲二教員：就任辞退

【令和５年度】

- ・大塚良一教員：担当授業科目変更
- ・柏まり教員：担当授業科目変更
- ・杉本均教員：令和5年4月専任教授就任
- ・矢野智司教員：令和5年3月末退職
- ・山崎玲奈教員：担当授業科目変更
- ・末崎栄司教員：担当授業科目変更
- ・崔銀姫教員：令和5年4月兼担教授就任
- ・朴光駿教員：令和5年4月兼担教授就任
- ・日高佳紀教員：令和5年4月兼担教授就任
- ・平田豊誠教員：令和5年4月教授昇任
- ・松村京子教員：令和5年4月兼担教授就任
- ・三谷憲正教員：令和5年3月末退職
- ・齋藤蒙光教員：授業科目担当辞退
- ・長瀬正子教員：担当授業科目変更
- ・長谷川由香教員：授業科目担当辞退
- ・三重野雄太郎教員：授業科目担当辞退
- ・渡邊照美教員：授業科目担当辞退
- ・ウリウム フェル教員：授業科目担当辞退
- ・田中裕成教員：令和5年4月兼担講師就任
- ・堤拓也教員：令和5年4月兼担講師就任
- ・増本敏子教員：令和5年4月兼担講師就任
- ・フィッシュマン スカントイ教員：授業科目担当辞退
- ・伊藤茂樹教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・内山淳子教員：令和5年3月末退職
- ・木村大輔教員：授業科目担当辞退
- ・古関大樹教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・鎮朋子教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・高橋信幸教員：授業科目担当辞退
- ・田辺翔平教員：担当授業科目変更
- ・崔杉昌教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・全炳昊教員：授業科目担当辞退
- ・中野千恵美教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・中御門敬教教員：授業科目担当辞退
- ・早瀬和栄教員：担当授業科目変更
- ・本間千景教員：授業科目担当辞退
- ・水落伸介教員：令和5年4月兼任講師就任
- ・向井大喜教員：令和5年4月兼任講師就任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) -② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
7	1	2	0	10	0	6	1	1	0	8	0
（ 5 ）	（ 1 ）	（ 2 ）	（ 0 ）	（ 8 ）	（ 0 ）						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
8	2	0	0	10	0	8	2	0	0	10	0
[1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C)

=

10

10

=

100

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数

=

0

8

=

0

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')

=

0

0

=

-

%

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当なし										
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	矢野 智司	R5.3	必修	教育原論	①	R5.3.31付け 一身上の都合により依願退職（5）						
				必修	教育原論2	①							
				選択	臨床教育学1	①							
				選択	臨床教育学2	①							
				必修	幼児教育・保育課程論	①							
				必修	幼児教育学演習2	①							
				選択	幼児教育学特殊講義2	①							
				選択	幼児教育学特殊講義6	①							
				選択	学校臨床教育学1	①							
				選択	学校臨床教育学2	①							
				選択	卒業論文指導	①							
				選択	卒業論文	①							
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

1

10

=

10

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1人

(注)・(3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・令和5年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
該当なし						
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)
0人		必修	0科目	必修	0科目	必修0科目
		選択	0科目	選択	0科目	選択0科目
		自由	0科目	自由	0科目	自由0科目
		計	0科目	計	0科目	計0科目

(注)・定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任の専任教員について、同科目を担当する別の専任教員を新たに採用することにより、学生の履修等への影響が出ないように対応した。学生への周知方法については、今般の教員変更を反映したシラバスを公開することにより行った。

(注)・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 幼児教育学科（通信教育課程）>

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 教育推進機構会議（平成24年4月1日設置） ※規程は別添 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和4年度17回開催。教育推進機構長、学生支援機構長、各学部教育推進担当主任、学生支援部長、生涯学習部長、情報システム部長および所管長で構成。 c 委員会の審議事項等 ・ 教育課程の編成・運営に関する事項 ・ 教育開発・改善に関する事項 ・ 国際交流センターに関する事項 ・ 教育推進機構の人事（契約講師、専門員等）に関する事項 ・ 教育推進機構の事業計画および予算編成に関する事項 ・ 教育推進機構の自己点検・評価に関する事項 ・ 教育推進機構に関連する諸規程の改廃に関する事項 ・ その他教育推進機構に関する必要な事項 ② 実施状況 a 実施内容 1) FDに関する研修会の開催 2) 研修会等への参加支援 3) 基礎学力テスト 4) 卒業時アンケート 5) 卒業生統合調査 6) 初年次教育 b 実施方法 1) カリキュラムマップとカリキュラムツリーの作成に向けて、その意義や作成方法についての研修会を開催。 2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。 3) 1年生・2年生・3年生を対象にオンラインテストを利用したアセスメントテストを実施。学生の思考力や姿勢・態度、経験を把握し、授業改善や学生指導に活用できるよう情報共有を行った。
--

- 4) 3月卒業生を対象に大学のLMSシステムを利用してアンケート調査を実施。DPの達成度や学修状況、学生生活満足度などを調査し、その結果について関係部局で報告を作成して学内に配信し、状況を共有した。
- 5) 卒業時アンケートと、その学生の1・3年時の基礎学力テストの結果を紐づけ、DPの達成度や大学の教育内容の影響を調査し、その結果について関係部局で報告会を対面で実施し、また、その報告会の動画を学内に配信することで、状況を共有した。
- 6) 2023年度4月入学者に対して、大学生活へのスムーズな移行を図るため、学生同士や教員との親睦を深めることと学科の学びを理解してもらうことを目的に、学部・学科ごとに新入生歓迎オリエンテーションを実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- 1) テーマ別や学部単位でFDに関する研修会を開催。その他、シラバス作成に関する説明会も実施
「カリキュラムの可視化WS」 参加者：専任教員20名
「教職課程カリキュラムツリー作成WS」参加者：専任教員41名、専任職員8名
「2023年度に向けたシラバス作成研修会」参加者：自由閲覧のため不明
学部FD
参加者：仏教学部 専任教員11名、文学部 専任教員26名、歴史学部 専任教員18名、
社会学部 専任教員23名、社会福祉学部 専任教員17名、保健医療技術学部 専任教員29名、実習指導講師2名
- 2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。 参加者：1名
- 3) 受検者数 1年生：1,548名（受検率97.42%）、2年生：1,447名（受検率88.87%）、3年生：1,448名（受検率83.63%）
- 4) 報告会参加者数：専任教員11名、専任職員6名
- 5) 報告会参加者数：専任教員35名、専任職員20名
- 6) 学部や学科ごとの企画で、懇親会やレクリエーションなどを実施。
参加学生数：仏教学部 49名、日本文学科 140名、中国学科 34名、英米学科 58名、歴史学部 203名、教育学科 130名、幼児教育学科 73名、臨床心理学科 89名、社会学部 365名、社会福祉学部 172名、理学療法学科 42名、作業療法学科 41名、看護学科 66名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- 1) 研修会をもとに、各学科でカリキュラムマップとカリキュラムツリーを作成し、HPで公開した。
- 2) 専任教員を対象に学外のFD関連研修会等についての情報発信と参加支援。
- 3) 1年生・2年生・3年生を対象にオンラインテストを利用したアセスメントテストを実施。学生の思考力や学習習慣、経験を把握し、授業改善や学生指導に活用できるよう情報共有を行った。
- 4) 2022年3月卒業生を対象に大学のLMSシステムを利用してアンケート調査を実施。満足度などを調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。
- 5) 卒業時アンケートと、その学生の1.3年時の基礎学力テストの結果を紐づけ、DPの修得度や大学の教育内容の影響を調査し、その結果について関係部局で報告会をオンラインで実施、またその動画を学内に配信し、状況を共有した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- 1) 春学期 実施教員数(実施率)：専任200名(100%)、非常勤289名(100%)
実施講座数(実施率)：1,435講座(100%) 実施時期：令和4年7月14日(木)～8月3日(水)
- 秋学期 実施教員数(実施率)：専任200名(100%)、非常勤283名(100%)
実施講座数(実施率)：1,275講座(100%) 実施時期：令和5年1月16日(月)～令和5年2月4日(土)

b 教員や学生への公開状況、方法等

全体の集計結果の分析を行い、教員の個人結果については、個々の教員に返却し、授業見直しの材料としてもらっている。全体の集計や分析は刊行物にし、学内で配付、学外にはHPを通して公開した。また、学内イントラにも公表している。その他、学生には教員への結果を学内LMSで公開している。

- (注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

教育学部幼児教育学科は、多様化する保育ニーズに対応できる幼稚園教諭、保育士の養成を行うことを目指したものであり、幼児教育学・保育学に関わる理論知識と幼児教育・保育に関わる実践的知識を両輪とした、体系的な幼児教育・保育の機会を提供し、幼児教育・保育現場で適切に保育ができる能力を有する保育者の養成を目的とする。また在学時から各種実習に加え、幼児教育・保育現場での多様な長期の現場体験学習の場を提供し、諸問題に対して適切に理解・判断・対応する力を養うことを通して、保育の質向上に寄与できる保育実践力を有する保育者養成を目指すとともに、社会に貢献することのできる人材を育成すること等を目的としている。

以上の設置の趣旨、目的のもとに学生募集を開始し、学生確保においては、入学定員を充足するに至った。

また、教育課程においては、1年生から「教育原論」等にて教師・保育職を目指すための基礎的理解を促し、幼児教育・保育学の学修をはじめため広い教養教育を重視した基礎教育を実施している。また、現場体験実習を計画的に行い、「幼児と健康」等や実技科目「ピアノ指導」等など、知識と技術の獲得が経年的、効率的に行えるように授業科目を開講している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和5年3月公表 『令和4年度教職課程自己点検評価報告書』
- ・令和元年3月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2019』

b 公表方法

- ・ホームページ上に公開し、大学図書館に配架

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元(2019)年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価(機関別認証評価)を受審し、「大学基準」に適合していると認定を受けている。評価結果における提言等に対する改善報告書は、令和5(2023)年度に同協会に提出予定。
- ・次回は、令和8(2026)年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価(機関別認証評価)を受審する計画である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和5年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ☐ その他()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。